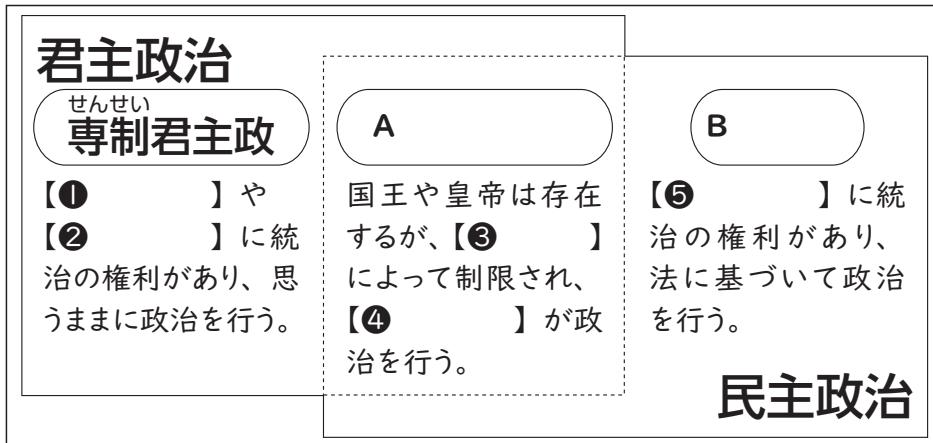


I. 変わる欧米諸国

(1) 近代の政治体制の変化について、図ⅠのA・Bと①～⑤に当てはまる語句を記入しよう。

図Ⅰ



(2) 図Ⅰを参考に、「市民革命」とはどのようなことか、説明してみよう。

[Large empty box for writing]

2. イギリスの議会政治

(1) 図Ⅱの①～③に当てはまる語句を記入し、イギリスの市民革命の動きをまとめてみよう。

(2) 資料Ⅲは、図ⅡのA～Dのうち、どの段階で制定されたものか記入してみよう。

[Large empty box for writing]

資料Ⅲ

権利の章典(1689年)

1. 国王は、議会の承認なく法律を停止することはできない。

9. 議会における言論の自由は、守られなくてはならない。

13. 議会はしばしば開かれなくてはならない。

（一部要約・抜粋）

(3) 資料Ⅲにより、イギリス議会は国王にどのような権利を認めさせたか、説明してみよう。

[Large empty box for writing]

図Ⅱ

A 《専制君主政》国王が議会を無視した課税を行う。



1642年、クロムウェルを中心とする
【①】革命が起こる。

B 《共和政》国王が処刑され、王政が廃止される。



クロムウェルが議会を解散し、独裁政治を行う。

C 《専制君主政》1660年、前国王の息子が即位し、ふたたび議会と対立する。

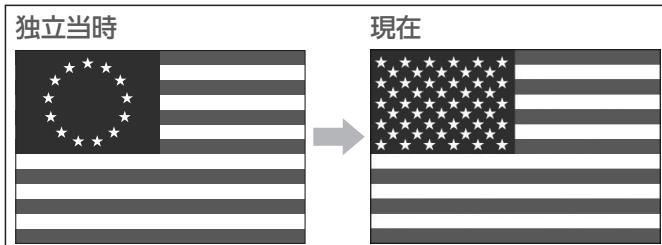


1688年、国王を追放し、新しい国王を迎えた【②】革命が起こる。

D 《立憲君主政》王は君臨すれども
【③】せず。

3. アメリカの独立戦争

資料IV 星条旗



資料V

アメリカ独立宣言(1776年)

われわれは以下の真理は自明のことと考へる。まず、すべての人間は平等につくられており、神より奪いがたい諸権利を與えられている。それらのなかには生命、自由、幸福追求の権利がある。

また、これらの権利を保障するために、人間の間に政府が組織されるのであり、その正当な権力は人々の同意に由来するものである。

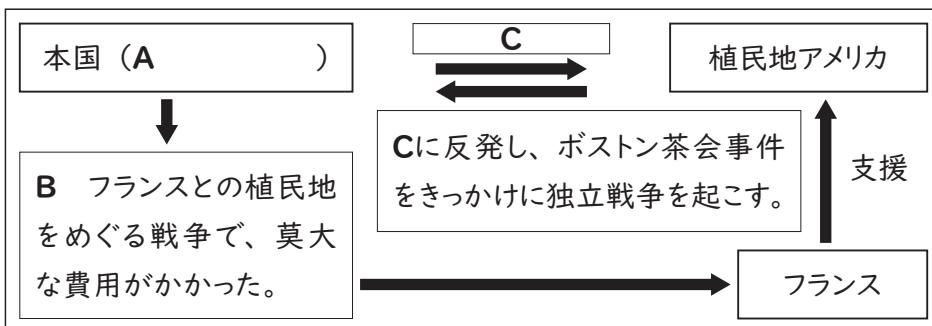
（一部要約）

- (1) 資料IVは、独立当時と現在の星条旗です。独立当時の星条旗が現在の星条旗と異なっていることと、変わっていないことをそれぞれ一つずつ挙げ、そのことからいえることをまとめてみよう。

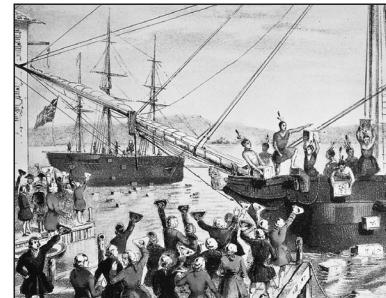
異なること	変わっていないこと	そのことからいえること

- (2) 図VIは、独立戦争の背景をまとめようとしたものです。

図VI



資料VII ボストン茶会事件



- ① 図のAに、当時アメリカを植民地としていた国を記入してみよう。
 ② 独立戦争のきっかけとなったことを、Bとの関連を考えながらCに記入してみよう。

--

- (3) 資料Vを読み、人々に認められた権利を挙げてみよう。

--

- (4) 独立戦争に勝利した結果、どのような政治のしくみを持つ国が誕生したか、説明してみよう。

--

本時のまとめ

◆ 「近代化」とはどのような変化か、政治の面から説明してみよう。
